

新春に思う

地方に住まう意味



山形県経営者協会

副会長 本間利雄

明けましておめでとうございます。新たな年を迎え、山形県経営者協会にふさわしい活動が、会員皆様のご協力のもとでさらに高まることを期待したい。

昨春秋、イタリアの北部山岳地方のダム関連施設の実態とその周辺の景観についての研究調査に参加し、イタリア・スイス・オーストリアの国境地域を見て回る機会があった。

ヨーロッパの屋根とも言われるアルプスはイタリア半島方向からの造山運動で隆起・褶曲してできた山脈で、氷河による浸食と風化により形成された急峻な山塊と深い溪谷が幾筋にも分かれて展開している。

原子力発電のないイタリアでは隣国からの買電にも頼っているが、自

国での発電の約四分の一は水力発電により、その多くがこの北部イタリア地方に立地している。

地球温暖化で氷河が融けている実態を目の当たりにして驚いたが、それとともに周辺の景観の美しさに見とれてしまった。ダムサイトの修景への深い配慮。またヨーロッパらしい地域性・伝統を感じられる発電所の建築デザイン等々。

視察の行程で立ち寄ったソンドリオやボルザーノ、かつて冬季オリンピックの開催されたコルチナ・ダンペッツォ等、いくつかの街や集落は、ミラノやヴェネチアのある平原地帯から山塊によって隔絶された谷間・山間に位置する。そこは私たちが概して抱くアルプスのイメージそのも

のであり、真つ白な山々を背にまさに牧歌的に佇んでいた。

イタリアを代表する経済紙は、毎年県別「生活の質」ランキングを発表している。数年前にはサンドリオやボルザーノが一位・二位となったという。

環境の良さは当然として、犯罪発生率の低いこと、失業率の低いこと、余暇時間などの指標で高得点を上げたとされるが、とても興味深いことだ。

夕暮れ時にホテルの外に出てみた。教会のひととき高い塔を中心に展開する街並みに明かりが灯っていた。静かで温かな風景は、かつての日本の集落の風景を思い出させてくれた。提灯を提げて「火の用心、火の用心」と拍子木を打って集落の家々を回った子供の頃の夕暮れ時の風景に通じるものがあった。

翻って現代の我が国の景観はどうだろうか。高層ビルが無造作に増え続けるだけの没個性化する大都市。そして過疎が止まらず疲弊して行くだけの地方。二つの無策がパラレル

を進めている。この国は一体どんな景観をつくらうとしているのか。

私の友人の建築家が、ご夫妻で東京から朝日町の山里に住まいを移して早くも四年。そのインタビュウがこの度、『村山学・創刊号』（東北芸術工科大学東北文化研究センター発行）に掲載された。

「住みだけを移すような田舎暮らしは長く続かないが、町の行事や諸々の伝統的な集りに参加してこそ、この田舎暮らしが楽しい」と彼が語っておられたのが、とても印象的だった。

都会だけでは存在できない。田舎あつての都会であるはずなのに、今のような都会中心の国づくりは、あまりにも頭でっかちだ。

人間はどういうところに住むのが本当の幸せなのか。

地方の豊かさを取り戻して、人間としての真の快適な生活とは何か。何のために生きるのか。

新年を迎えて、いま改めて生きていく意味を考えてみたい。

（本間利雄設計事務所 代表取締役）

株YCC情報システム

代表取締役社長 津志田光弘



二〇〇五年国勢調査で、県人口は二〇〇八年調査より二万八千三十一人減の百二十一万六千百十六人と少子高齢化により減少傾向が拡大。経済産業省の地域経済シミュレーションでは、二〇三〇年の山形の地方都市圏の経済規模は二〇〇〇年と比べ九%、十七%縮小の見通しと報じている。山形の企業としてコミュニティ（地域社会、地域共同体）のために、何か行動を起こさなければとの思いが強い。今は官・学・産の連携を密にした「ものづくり産業」の競争力強化に参加し貢献していきたい。

株山形組

代表取締役 荒井 捷夫



新年、あけましておめでとうございます。旧年中の多くの皆様方のご愛顧に感謝致します。己の利益のみを最優先とする誤った考えは、生命財産をも危うくする、最近社会問題として世情を騒がせた耐震強度偽装事

有月岡ホテル

会長 堺 悦子



あけましておめでとうございます。上山温泉の武家屋敷通りが見事に整備され歩いて楽しく新湯と湯町を結んでおります。お休み所紫恩苑では躊躇で水琴窟の雅やかな音色を聞き抹茶一服で寛げます。○木守柿一つ秋陽にあわあわと歩をとめ見上ぐる武家屋敷道 敗戦後六十年経ち広島に行つて来ました。戦争を経験したことのない人が多い時代となりました。感無量です。○広島島の原爆投下の時計す時計のありき八時十五分 ○広島の本安川は青く澄み原爆の惨形とどめす 今年もおもてなしの心一筋に進みたいと思えます。短歌にも励んでおります。

経営トップ 私の年賀状

本間利雄設計事務所

代表取締役 本間 利雄



新年、あけましておめでとうございます。昨年末よりマンション耐震強度偽装問題が大きな社会問題となつています。価格競争を言い訳にして、人の生命を切り売りするも同じです。

株小森マシナリー

代表取締役 猪股 武溥



新年、あけましておめでとうございます。日本経済は、輸出や個人消費の堅調な拡大、設備投資の増加により回復傾向にあります。また、印刷関連産業では、世界経済が回復基調となり、緩やかながら回復の兆しが見えつつあります。しかし、成熟した市場で当社が勝ち残るためには、顧客信頼、顧客満足、顧客感動、顧客に選んで頂ける企業を目指し、更なる努力を行つて参りたいと思つております。皆様にとって良い一年になります。すようご祈念申し上げます。

株塚田会計事務所

代表取締役 高橋 一夫



新年あけましておめでとうございます。山形市に赴任された支社、支店、営業所の方々にお会いしますと、異口同音に「山形の食べ物は何でもおいしいですね。まいった」と、「こんな所に来ちゃつてうれしくてしょうがない」といった笑みでおっしゃいます。ぜひ、この食文化の高さを「売り」にして、山形にいい人と呼ぶことができればいいですね。と、単なる「食い過ぎ」の言い訳まがいを今年も言っている私です。よろしく。

